

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

平成30年度から第3期中期目標期間（平成30年4月1日から令和6年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切った九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、地（知）の拠点として、大学の個性・強みを生かした教育研究を行い、地域社会の発展に貢献できる優秀な人材の育成をはじめとした取組を着実に実施することを最も重要な使命としている。

平成30年度の評価にあたっては、第2期中期目標期間内に取り組んだ諸改革や魅力ある大学づくりを一層進めるとともに、第3期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、地域貢献及び国際交流、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び情報の提供）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、九州歯科大学では、口腔保健・健康長寿推進センターにおいて、地域歯科医療関係者に対して、リカレント教育を行うとともに、地域の中核病院等との連携を強化し、包括的な地域歯科保健医療体制の構築を進めるなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成30年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化・専門化や高齢化社会の進展等、多様化するニーズへの適切な対応が求められる中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより地域貢献の充実に向けた取組を一層推進し、社会から高く評価される大学となることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、改善すべき項目も認められるが、全体的には年度計画を着実に実施していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する実践的な歯科医師及び歯科衛生士の育成
・シラバスを組織的に検討し、学生の自学（予習と復習）を促す環境設定を行うなど、初年次教育の充実を図った。

- ・モデル・コア・カリキュラムと講義内容の相関性を検証するとともに、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーに整合したカリキュラムマップの作成や国内初となるデジタル歯科シミュレータの臨床教育への導入など、特色ある教育を展開している。
 - ・平成30年度の歯科医師国家試験合格率が全国29大学中16位と低下（平成29年度5位）しており、合格率の高水準への回復に向け、原因分析と対策に取り組む必要がある。
- (2) 特色ある大学院教育による優れた歯科医療人の育成
- ・受験生が理解しやすい学生募集要項等を整備するとともに、学力と研究意欲を問う筆記試験問題の作成やアドミッションポリシーに基づく評価票を用いた面接の実施など、より適正な入学選抜体制の構築を図った。
 - ・初年次研究研修プログラムを改編するとともに、国際学会等での知識や発表技術の向上のため、大学院特別講義の一環として、Asia-Pacific Conference への参加を取り入れるなど、大学院教育の充実を図っている。
- (3) 教職員の教育力向上
- ・ファカルティ・ディベロップメント部会を中心に、初年次教育、医科歯科連携教育への取組等に関する講演やワークショップを実施するとともに、教育の質の向上に向けて、学生食堂へのラーニング・コモンスの設置や、図書館へのラーニング・コモンス開設に向けた検討を進めるなど、教育活動の改善を図っている。
- (4) 意欲のある優秀な人材の確保
- ・模擬講義や大学施設説明会の実施などの高大連携に取り組むとともに、オープンキャンパス、高校訪問、進学就職説明会等の入試広報活動を積極的に実施するなど、優れた資質や高い意欲を持った人材の確保を図っている。
- (5) 学生の学修及び生活支援
- ・学生相談等に迅速に対応するための体制強化を図るとともに、保護者面談会の開催や留学生の住宅確保の支援など、きめ細かな学生支援を行っている。
- (6) キャリア支援
- ・就職支援実施会議での組織的な対応により、希望職場への就職活動を支援するとともに、民間企業や総合病院等への就職を開拓し、口腔保健学科において、引き続き就職率100%を達成した。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・地域の中核病院との医科歯科連携協定等を活用し、地域包括ケアシステムに対応できる歯科保健医療体制の構築に資する研究を展開している。

- ・科学研究費補助金の応募数、獲得数ともに目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 地域貢献及び国際交流

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

地域貢献及び国際交流については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・「口腔保健・健康長寿推進センター」において、歯科医師等を対象とした摂食嚥下障がい等に関する実践的教育を実施するとともに、附属病院に「地域包括歯科医療センター」を設置するなど、地域のニーズに対応した歯科医療の充実を図っている。
- ・地域の中核病院や社会福祉施設等との連携を強化し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制の充実を加速化するとともに、歯科検診受診率向上に向けて、地域の経済団体との連携の充実を図っている。
- ・海外学生短期派遣プログラムを正規の選択科目として実施し、海外大学に学生を派遣するとともに、大学院歯学研究科博士課程に複数の大学から留学生が入学するなど、海外大学との交流を推進している。
- ・「Asia-Pacific Conference in Fukuoka 2018」を開催し、ミャンマー及び東南アジアの歯学教育及び歯科保健活動に関する学術交流を展開するとともに、交流協定締結校から教員を受け入れ、口腔保健・健康長寿推進センターにおいて短期研修を実施した。

4 業務運営の改善及び効率化

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営の改善及び効率化については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・I R室で履修データを整理し、学生指導や国家試験対応に向けて組織的に検証を行うとともに、学長裁量経費を確保するなど、戦略的な大学運営に取り組んでいる。
- ・臨床教育資料の充実のため、総合診療系カンファレンスデータのアーカイブ化を実施するとともに、包括歯科診療の拡充や多職種連携の推進に向けた体制整備を図った。

5 財務内容の改善

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務内容の改善については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。

6 自己点検・評価及び情報の提供

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

自己点検・評価及び情報の提供については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・内部質保証体制の充実のため、新たな組織の設置を検討するなど、大学運営の改善に向けた取組を行っている。
- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。